

製品名: Fascin Rabbit モノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21011**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:54kD;Observed MW:54kD

抗原情報

遺伝子名	FSCN1
別名	FAN1 HSN SNL
遺伝子 ID	6624.0
SwissProt ID	Q16658
免疫原	ヒト Fascin の組換えタンパク質

背景

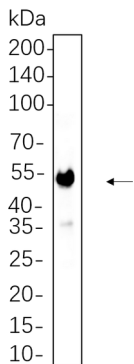
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、アクチン結合タンパク質であるファシンファミリーのメンバーをコードしています。ファシント

ンパク質はF-アクチンを平行な束に組織化し、アクチンを基盤とした細胞突起の形成に必須です。コードされているタンパク質は、細胞の移動、運動性、接着、そして細胞間相互作用において重要な役割を果たします。この遺伝子の発現は複数のマイクロ RNA によって制御されることが知られており、過剰発現は細胞運動性を高めることで、複数の種類の癌の転移に関与している可能性があります。この遺伝子の発現は、ホジキンリンパ腫におけるリード・シュテルンベルグ細胞のマーカーでもあります。この遺伝子の偽遺伝子は、15番染色体長腕に位置しています。[RefSeq 提供、2011年9月]

研究分野

-

画像データ



K562全細胞ライセートを10% SDS-PAGEで分離し、膜をFascinウサギモノクローナル抗体(1:1000)でブロッティングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。